第１回環境部会

日　時　平成２２年６月２日（水）午後６時３０分

場　所　川崎区役所７階会議室

午後　６時３０分　　開　会

出席者（敬称略）

委員　５人

　木島千栄、長島亨、秦琢二、藤岡玲子、鷲頭多加志

１　開　会

事務局　＜会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明＞

２　議　題

（１）部会長の選出

事務局　議題（１）部会長の選出を行います。専門部会の部会長は、川崎市区民会議条例施行規則第４条第３項に「専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める。」とあります。立候補または推薦にて決定したいと思いますが、全委員がおそろいでないので、おそろいの段階で改めて決定します。

　ついては、それまでの間、木島委員に進行をお願いします。

＜木島委員が部会長席に移動し、部会長選出までの議事進行を木島委員に依頼する＞

（２）審議の進め方について

進行役委員　議題（２）審議の進め方について、事務局から資料１、２、参考４の説明をお願いします。

事務局　＜資料１、２、参考４に沿って説明＞

進行役委員　審議の進め方、回数については、課題の出方次第で進めていくことでよろしいですか。

各委員　異議なし

（３）審議課題について

進行役委員　議題（３）審議課題について、各委員のご意見を伺います。

委員　私は去年１年間環境エコ部会に所属していましたが、今回も環境部会を選んだのは、川崎区は北西部の多摩区や麻生区と比べ、まだまだ緑が少ないし、近くに大きな工場がたくさんあるため、環境がよくないと思ったからです。環境をよくするには、大勢の区民に参加してもらわなければいけないと思います。環境をよくしようという気持ちはあるのでしょうが、具体的に何をやればよいか、そのきっかけづくりができればよいと考えています。

委員　１期２年計画で考えてみました。１年目は、川崎区内にある六、七カ所の自転車置き場の命名権を企業に買っていただき、そのお金を運営費に回したらいかがでしょうか。既に世田谷区で始まっているような仕組みづくりを区民会議で提言したらどうかと考えています。

２年目は、管理、整備を行った上で出る余剰金で自転車のシェアリングをしてみたいです。塩浜に塩漬けしてある不法投棄自転車を企業に貸して、不法投棄自転車がなくなるだけでも相当環境には優しいと思うわけです。不法投棄自転車を使用した上で月々皆さんに借りていただいて、自宅では自転車を買わないようなモデルができれば理想的だと考えています。

委員　環境部会を選んだ理由は、高齢者部会、子育て部会と比べて範囲が広いと思ったからです。

僕は、川崎区のイメージアップを区にお願いしたいのです。僕は音楽をやっていますので、音楽のまち・かわさきのような企画でまちのイメージアップとＰＲができたらと思っているので、環境に限定してしまうと外れてしまうかもしれません。音楽をやっている人たちは、やはり有名な施設で演奏してみたいわけです。川崎には有名な施設があるので、プロ、アマチュアを問わず、そういう人たちが自由に集まって演奏できるような環境をつくってあげられればと思います。

進行役委員　川崎区の敷地の割合は、臨海部が52％ぐらい、それ以外が川崎区民が使っている敷地のようです。平成９年のカーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（ＣＣかわさき）による臨海部エコタウン構想で企業として最先端の技術を駆使している現実を目の当たりにし、ぜひ川崎区民も環境への意識を持っていただきたいと感じました。

川崎区民への啓発事業、環境に対する意識改革を考えたとき、学校や町内会で一緒に臨海部へエコツアーで行って、そこの企業の実際を目の当たりにし、感じ取ったことから課題を見つけ、１年目はその見つけた課題について、子どもたちなり、町内会なりで実行して実績を上げて、それから２年目の活動に進んでいこうと考えているのですが、一般区民にお聞きすると、臨海部で何をやっているか、ご存じない方が意外とたくさん

いらっしゃいます。

臨海部にある企業は世界でも最先端の技術を持っていて、わざわざ海外から見学に来られる方もたくさんいらっしゃいます。そのような貴重な川崎の資源、知的財産みたいなものが一般の方々にも浸透していけばと思います。本当に身近な部分では、臨海部のエコタウンにある三栄レギュレーターは紙などの再生しているのです。リサイクルをうまく使って、子どもが牛乳パックをたくさん集めて持っていっても、ちゃんとトイレットペーパーにかわるわけです。そのような実情を見て、川崎区民がまち全体としてエコに取り組むようなイメージになってくればよいのかなという思いがあって環境部会に入らせていただき、少しでも環境意識を向上させられる取り組みをしたいと思っています。

長島委員は、大勢の区民にきっかけを与えたい、緑をふやしていきたい、せっかく前年度まで環境に取り組んできたのだから、ぜひこれからも進めたいとおっしゃっていました。秦委員からは、世田谷区での実例がある自転車のシェアを川崎区としてもやったほうがよいのではないかとのご意見を伺いました。鷲頭委員からは、音楽をもとにした環境へのＰＲ、川崎としてのイメージアップをしたいとのご意見をいただきました。

時間に余裕があるので、もう一回、１人ずつじっくりとお話しいただきたいと思います。

委員　一般市民が環境に対する関心を深めるためのきっかけづくりと言ったのですが、木島さんのエコに取り組んでいる最先端企業への見学ツアーも一つの方法と思います。どのようにエコツアーをやっていったらよいのか、もう少し具体的に方法を詰めていったらどうかと思うのです。大勢マイクロバスに集めていく方法もあるし、少人数なら乗用車でもよいかもしれませんが、企業へ見学に行きたい旨の話も進めなければいけないので、一つずつ具体的に進めたほうがよいと思うのです。

委員　自転車のシェアで一番理想的なのは、放置自転車だと思います。ただ、塩浜に預けられていても、持ち主がはっきりしている場合はどうされるのですか。

副区長　お金を出してとりに来ます。

委員　その場合、勝手に使ってはまずいので、命名権から企業に提供いただき、その企業のロゴが入った自転車でもよいかなとは思っています。それを市内六、七カ所ある自転車置き場の間で自由にシェアできるようにしていければとは思っています。

ただ、提言の範疇を超えない部分で我々が何かできるかといえば、下調べぐらいしかできないので、あとは議員なり役所に段取りしていただかなければどうにもならないです。

ただ、簡単な計算をしただけでも、命名権さえうまくいけばリスクは異様に少ないのです。うまくいけばと言ってしまうと、何でもそうなってしまうのですが、どこが損をするかといえば、どこも損はしないはずなのです。ですから、どこも損をしないで環境が整うのであれば、それはそれでよい。きちんと調べて、具体的な提言を行えるのであれば、区民会議として取り上げてもよいかと思います。

委員　それを具体的にやっているところはあるのですか。

委員　命名権を運営費に回して、バイクシェアをしているところはまだないです。ただ、世田谷区ではバイク（自転車）シェアをしているので、命名権と企業を全部ひっくるめて、うまくシェアまでいけば一番よいと考えています。

先ほどのカーボン・チャレンジの件で、みんなで見に行くのは僕もよいとは思うのです。ただ、その前に環境部会で実際に見に行って、ビジュアル的にすごいものならばみんなで行ってもよいと思うのですが、やっていることはすごいのですが、正直言って、ビジュアル的、内容的にいまひとつなものもあると思うのです。そのあたりは部会で精査し、チョイスしたものでツアーを組むとよいと思います。東京電力が並べている液晶パネルは意外と壮大かなとは思うのですが、ミックスペーパーなどは想像もつかないので、何とも言えません。

委員　古紙のリサイクルもあります。

進行役委員　すべて循環なのです。

委員　一連が見れて、なおかつビジュアル的にインパクトがあるのならば少しは頭に残ると思うんです。ただ、全面が壁に囲まれていて、やっているんだけれども、何をやっているのかわからないような企業は見に行ってもしようがないと思います。

進行役委員　子どもが見れば結構刺激になるかもしれません。

委員　刺激があるないというのも変ですが、あるならば行く価値はあります。

委員　私の友達もそうですが、職場の後輩なども川崎をどうしても毛嫌いするのです。飲みにいこうと言うと、東京や横浜に行こうと言われてしまいます。僕は川崎が好きなので川崎を推薦するのですが、どうもイメージがよろしくないようなので、何とか川崎に若い人に来てもらいたいと願っています。川崎は有名な施設がたくさんあるのに、我々

には余り関係ないのです。施設に行ってはいますが、我々とはかけ離れた、全然知らない人が演奏しています。東京の人も、横浜の人も、みんなが知っている有名な施設で川崎に住んでいる我々が楽しいイベントをし、周りの人を呼び、区民祭的なものをやり、川崎はよいまちなのだなと思ってもらえれば一番よいかなと前々から考えていたのです。

問題は有名な施設を使用する場合の使用料ですが、寄附を募ったり、区に協力してもらうなり、個人的にもいろいろ努力したいと思うので、音楽のまち・かわさきの実行委員やスタッフに僕を推薦していただきたいのです。どこでどうやって、どういう形でどういうものをやるのか、そのための方策、方法、ノウハウをいろいろ勉強してみたいのです。

ただイベントを行うだけでは内容がないので、アンケートなり、ディスカッションなり、直接文書でもよいのですが、このまちに住む人たちが何を希望しているか、調べてみてはいかがでしょうか。区民会議のようなものを募り、アンケートを集計し、まちの声を把握してみたいと思います。その中からヒントをもらい、またそれについて審議をしていき、可能ならば実現に向けていろいろ努力していくような区民祭的なイベントをやりたいと思っています。

進行役委員　参考までに、市のイメージアップ事業として、シティセールスのほうで募集しています。もしかしたら、鷲頭さんはイメージアップをしたいというイメージのほうが強いのですか。

委員　東京、横浜と、どうして川崎を避けるのかなと思っているのです。足を運んでもらえるような魅力のあるものが１年に１回でもよいからあればと考えています。

ただ、市民祭りとはイメージが違うのです。

進行役委員　環境に関してはいかがですか。

委員　僕の職場が臨海部の東京電力の中なのです。東京電力でもリサイクルをいろいろやっています。僕は部が違うので詳しくはわからないのですが、世界に誇れる最先端技術も見てみたいので、勉強してからいろいろ考えたいと思っています。

〈委員が全員そろう〉

事務局　委員が全員おそろいなので、再度部会長の選出をお願いします。

委員　進行がうまいので、木島委員を推薦します。

各委員　異議なし

事務局　では、（仮称）環境部会の部会長は木島委員に決定しました。
＜部会長が部会長席に移動し、以後の議事進行を部会長に依頼する＞

部会長　区民会議の運営要綱では「部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、部会長が予め指名する委員が職務を代理する。」という規定に基づき、職務代理には長島委員を指名します。

引き続き審議課題について、ご発言願います。

委員　私は、川崎区市民健康の森の活動を通じて、川崎市、その中でも川崎区の中に緑をふやす運動を続けています。緑のメンテナンスだけではなく、とにかく木を植えることに主眼を置いた活動なのですが、なかなか木を植える場所がなく、ふだんはメンテナンスのほうが多いのです。その中で感じることは、しゃがみながら緑を植えていると、いかにごみが多いかがすごく目立って、やはり緑を愛する心やきれいであってほしいと願う心を子どもと共有できればと常々思っています。

例えば植樹をした後、ごみ拾いをして帰るとか、ごみ拾いプラス時間があればどこか見学をしてもよいですし、そのような形で子どもから大人を啓発するような活動を常々考えています。他団体から打診があったのですが、臨海部での潮干狩りなど、川崎は海があることが大きな特徴であり、人を集めやすい環境にもありますから、臨海部といってもいろいろ広いことをアピールしたいと思います。太陽光パネルができる敷地などを見せて、川崎区がどういうところなのかを知ってもらい、緑が少ない、自分たちでふやしていきたい、昆虫や鳥が来るような場所にしたいと願えるようなお子さんになっていただくための企画をやっていきたいです。

ついては、ごみ拾いや植樹活動だけでなく、去年から始めているゴーヤーのトンネルづくりなど、ことしも市役所第３庁舎南側に植えさせてもらいましたが、さらにゴーヤーのグリーンカーテンを展開していきたいと思います。去年、秦さんから、ＰＴＡを通じてやれることもありますとの力強いご意見もいただいていますので、１期、２期の積み重ね、延長からのグリーンカーテン作戦が３期ではこのようになりましたというところが出せれば、継続的な活動として、区民会議に対する認識や共感も得られるのではないかと思っております。

川崎区イコール公害とすぐ口にする人がいます。それはそれで、暗い歴史ではあるのですが、そこから物すごく学んだまちとしてイメージアップができれば、最終的に一番

よいのではないでしょうか。ざっくばらんですが、そのようなことを考えつつ、日々草刈りに専念しております。

部会長　皆さんからお聞きした内容によれば、共通点があるテーマもあるし、全然違う自転車のシェアという提案もありました。幾つかの提案を同時に進めていくのも一つの方法かと思うのですが、いかがでしょうか。

一つ目の課題として、秦さんからの自転車のシェアの提案は、これからタイムスケジュールを立て、１年目は洗い出しと自転車をシェアするための準備、２年目にかけて広げていくと考えてよろしいのでしょうか。

二つ目の課題として、藤岡さんからの臨海部についてのご提案、長島さんからも先ほど臨海部の見学もよいのではないかとのご意見をいただきました。子どもへの啓発事業として臨海部を再発見する取り組みも一つの方法かと思いますが、いかがでしょうか。

委員　長島さんや藤岡さんから、ゴーヤーの件に関して継続したほうがよいとの話がありました。先ほど金子課長にもお話ししたのですが、藤岡さんにもご協力いただき、本日付でゴーヤーが、宮前小に150株、東大島小に20株、川中島小に50株入っているはずです。これはあくまでも第１期の希望者だけなので、来週火曜日に川崎区ＰＴＡ協議会で第２期の希望を募り、また再度緑政課にお願いする予定になっています。浮島に子どもを連れていくとか、啓発活動や植樹を含め区民会議のＰＲ活動を推進するために、学校単位でのエコ自慢をして、ごく簡単な表彰式をやれば少しは人が来るかと思うのです。若干の予算を使い、子どもだましな商品でもいただければ、より人が集まるのではないでしょうか。その際、区民会議の活動であることを嫌らしいぐらいまでＰＲしてしまえば、１年目はともかく、２年目以降軌道に乗れば、各学校でもそこそこの規模でゴーヤーを植えていただけるのではないでしょうか。

ゴーヤーについては、１年目は苗をもらったのですけれども、２年目からは種から植えて、エコ自慢という形にしておけば、それほど予算もかからないので、継続的にやるのであれば、仕掛けをちょっとずつつけてふやしていったほうがよいと思います。

部会長　昨年までもゴーヤーの緑のカーテン、第３庁舎にも緑のトンネルをつくったり、実質やっていることですので、そういった継続できる取り組みと第３期目として取り組めるものとで課題を別につくってもよいのではないでしょうか。とりあえずグリーン作戦としてゴーヤーの取り組みをする。秦さんからご提案ありましたように、学校単位でエコ自慢、グリーンカーテン自慢みたいなものにして、各学校で競争してもらう方法もあると思いますし、３期目のこれからの取り組み方として、臨海部も含め川崎区の資源をもっと川崎区民に知ってもらうための啓発事業として、子どもさんも含めて、例えば

町内会の方々、ご年配の方々も一緒に臨海部に行き、実際に目で見て、アサリなどをとるような作業は今まで体験していないわけですから、そのような取り組み方もしながら、子どもさん、町内会や商店街の方々、地域の方々にも実際に体験していただいて、その上でまた課題を見つけて取り組んでいく方法もあるのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

委員　継続するのであれば、さらに色をつけた方向で継続しながら、なおかつ充実拡大という課題を設定するのには賛成ですし、プラス３期では新鮮な目を持つ皆さんが集まっていますので、３期は３期での新しい課題を設定し、それは私が来る前にも随分たくさん出たようなのですが、どこまで絞り込むのかという点で、また続けていくことに賛成です。

　鷲頭さんは音楽をやっていらっしゃるようですが、私も実は楽器をやるので、本当は音楽のまち・かわさきと何か結びつけられればよいなと常々思っていますので、エコ自慢をやるときにお子さん等を交えて、大人もまじって音楽がやれればよいと思っています。

委員　臨海部への潮干狩りなど、子どもをどこかに連れていく話の場合、基本的に学校単位では無理です。町内会で連れていく分にはよいですが、学校単位でどこかに行くのは基本的に無理と考えておいたほうが今後の事業展開にはよいと思います。なぜなら、先生が引率しなければいけないので、土曜日は基本的に無理ですし、日曜日はそれ以上に絶対無理です。平日も授業がびっちり入っているため、よっぽどでない限りスケジュールはあけてくれないので、基本的には、町内会単位、子ども会単位で考えていただいたほうがよいと思います。

委員　一般市民がプランター１個ずつでもよいから、全体的に盛り上がるような雰囲気をつくりたいと思っています。ゴーヤー１鉢でもよいから、各家庭で育ててもらえるようなよい方法がないかと思っているのです。子どもに意識を持ってもらうために、支所で種や苗を配るとか、もっと直接的に各家庭に働きかけできないものかと思っています。

委員　宮前小のゴーヤーは150株もあるので、育ったら自校給食で出すようですが、種に関しては、学校にストックする種と子どもに持たせる種としての活用を検討しています。六、七百の家庭数なので、一人二、三粒持たせてもたかが知れていると思います。

部会長　ゴーヤーで緑のカーテンをつくるのは非常によい方法だと思いますが、他区でも結構やっているので、継続するとしても、川崎区として特徴あることをやってもよいの

ではないかという気はしているのです。そのためにも、川崎区の一番の特徴である臨海部の最先端技術を学んでみたい。

具体的な方法として、牛乳パックはトイレットペーパーに非常に適しており、６枚の牛乳パックで１個のトイレットペーパーができるのです。子どもさんを連れていくのは難しいとおっしゃっていましたが、夏休みや何かの機会はあると思うのです。中学生なら企業訪問のような特別授業がありますから、小さいお子さんに限らず、中学生、町内会の方々も含めて実際に見て、討論会を開き、今、地球温暖化がどのぐらい進んでいるのか、今、何をしなければならないのかを少しでも理解して、自宅なり学校で実際に自分たちができるような動き方を区民会議で提案していけたらと思うのですが、いかがでしょうか。

委員　今、町内会でという話が出ましたが、町内会で子どもたちを見学に連れていくのも結構難しいのです。もっと楽しいところと言っては語弊がありますが、見学に行くから、みんな集まれといっても、なかなか難しい面があります。

部会長　潮干狩りならよいですか。

委員　子どもたちが関心を持てるような楽しみが伴えば、集まる可能性はあります。

委員　具体論は今後の審議でよいのではないですか。

部会長　そうです。

委員　具体的な話はこれから討議していくと思いますが、課題として、今後２年間活動をしていく上での方向性を幾つか考えたいと思うのです。

ゴーヤーを植えるとか、緑のカーテンをつくるとか、それに伴いごみ拾いをするとか、環境に配慮した啓発事業など、１期、２期にわたりやってきた事業をそのまま継続する方法や、これら事業を子どもと一緒に取り組むのも一つの方法だと思いますが、３期目として川崎区として特徴のある取り組み方を提案していくのも、また一つの方法だと思うのです。秦さんがおっしゃっていた自転車シェアの話も一つの方法だと思います。学校や町内会で子どもを臨海部に連れていくのが難しいのであれば、町内会の方々を募ってはどうでしょうか。川崎区内にも町内会は幾つもあると思いますが。

委員　70くらいあります。

部会長　町内会の方々だけで行くのも一つの方法と思います。ただ、町内会だけでは偏りがあるので、お子さんやＰＴＡ、地域の方々が参加して、実際に啓発事業として、例えば川崎区の臨海部を見学に行くのも一つの方法ではないかと思います。

委員　ＰＴＡでは、夏休み、冬休み、春休みの３回、１万3000家庭全部に100％届く広報紙を出しています。７月の夏休み前に出すので、その際、見学先の一覧表をつくったり、表彰ではありませんが、おまけをつけるようなパターンはとれます。期日までに内容物をいただければ、一緒に折り込めばよいだけの話なのでいかがでしょうか。中には、ランドセルの中でぐちゃぐちゃになっている場合もありますが。

委員　去年もやりましたが、うちの町会では子どもたちに絵をかいてもらい、ごみ置き場に張ってみました。割と評判はよいと思いますが、時間をかけて計画的にやらなければならないので、時間をかけて、繰り返しにはなりますが、もう一回やってみてはどうかと思います。

事務局　昨年提案いただいた内容は22年度についても取り組んでおります。

今回いろいろな課題を洗い出していただき、資料２の審議テーマ候補をいくつか挙げていただきたいと考えていました。なぜ候補なのかといえば、本日の審議だけでは絞り切れないし、審議テーマによっては地域の方たちが実際に取り組んでいるようなもの、あるいは市で既に事業として取り組んでいるものがあるからです。それについては次回以降、資料を用意したり、必要があれば関係課からご説明するようなことも事務局では考えています。今回、既に重複しているような事業を挙げて最終的な方向性まで決めてしまうのは、効率がよくないのではないかと考えております。必要な資料を提示し、情報共有をする作業を次回以降深めていきたいと思いますので、趣旨をご理解いただいた上で提言いただき、底辺をそろえたような状態で、さらなる審議をしていただければと考えます。

ですから、今回は、いろいろな課題があり、どのようなことを話し合いたいかという部分で幾つか審議テーマの候補を挙げていただき、できればその候補が幾つか挙がった中で部会名を決めていただくようなまとめ方でよろしいのではないかと思っています。これは事務局からの提案ですので、その辺も審議願います。

２枚物の配布資料ですが、長島委員がおっしゃったポスターコンクールはことしも行いますので、後ほどご説明させていただきます。

委員　子どもの絵を使ったまちの美化など、準備は進んでいるようですが、いつごろできてくるのですか。

事務局　では、流れを説明させていただきます。

事務局　<資料に沿って説明>

事務局　ゴーヤーのトンネルも川崎区エコプロジェクトの事業展開の一環であり、８月の環境イベントも区民会議の提案を受けて区の事業として発展させるべく、22年度も取り組ませていただいております。ことしは環境部会ができていますので、この取り組みをどう発展させていくのかも含め、お話を進めていただいてもよろしいかと思います。

部会長　市の事業と区の事業のようなので、今度の会議までに整理していただくとありがたいのですが。

事務局　ＣＣかわさきという大きな事業の中で区が取り組むことという位置づけで整理しております。

部会長　１期、２期とやってきたゴーヤーに限らず、他事業でもバッティングする部分があるかと思いますが、今回、３期目の事業として新たにアイデアがあるようでしたらお話し願います。

委員　ごみ拾いは実際にやっているのですか。

委員　海風の森の活動の中にはあるのですが、他団体と提携しての事業は、最近話はもらったのですが、まだ実現できていません。

委員　実際にごみ拾いをするのは、その会の中の人たちがやるのですか。

委員　ご高齢の方は枝打ちとかはできなかったりするので、枝打ちがメーンですが、ごみ拾いもしましょうみたいな形でやるのですが、拾い出すと腰が痛くなるぐらいいっぱいあって、これはみんなに知ってもらいたいと思います。

委員　ごみ拾い事業みたいなものを何かやりたいです。

委員　ごみ拾い競争とかなら、子どもも参加するかもしれません。

委員　川崎市では、９月末から10月の頭でクリーンアップ作戦をやっていると思いますが。

委員　それは臨海部に特化しての話です。８月の後半とか、夏休みが終わった後は、お弁当のかすやら、コンビニの袋やらが物すごいです。

委員　運動会の後がひどいです。学校では捨ててはいけないと言われるので、学校の周りのコンビニ等に捨ててしまうのです。コンビニでもだめとなると、ごみ置き場に移ってしまうので、結局学校で掃除するパターンになっているのですが、そういうものも含めて啓発すべきと思います。

部会長　子どもを集めるには、ごみ拾いだけでなく、植樹とか、何か楽しいこともあわせないと難しいと思います。

委員　ごみ拾い競争をさせて、ちょっとしたプレゼントをするのも確かに必要です。冬ならばもちつき大会とあわせて、早くごみを集め終わった人からできたてのおもちが食べられるなど、いろいろ案はあったのですが、まだ実現させていません。臨海部については、多分ほかにも、やれそうだけれども、やれないよねという話だけはあるように思います。川崎区は海が特徴的なので、ここで連携して何かできるとうれしいという気持ちはあります。太陽光の設備は、ついこの間まで草が生い茂っていて、まだ更地にしたかどうかぐらいの状態と思うので、その途中経過を見に行くのもよいと思います。

部会長　メガソーラーですね。

委員　浮島公園はすぐわきに位置していますから、全部連携できます。交通機関の関係上、多少遠回りしなければいけないところは一部ありますが、川崎区らしさという部分での煮詰め方はできると思います。緑だけでなく、音楽と組み合わせた何かもあるかもしれません。

部会長　川崎では年間45以上のイベントをやっていますが、臨海部でのイベントは確かに少ないと思います。

委員　もともと人がいる場所ではない臨海部まで行かなければいけないからかもしれません。

部会長　臨海部は交通網が難しいのです。マイクロバスなどを出せば大勢行けますが。

委員　臨海部まで動員するのが難しいです。

委員　その点は、１期、２期でもずっと課題だったと思うので、３期で詰めていけばよいと思います。

　新規として、秦さんから自転車のシェアの話が出ていたようですが、放置自転車も川崎区の悪い特徴であり、全国のワーストスリーか何かに入っています。大人の意識調査は随分やり尽くされているので、その点は子どもの目を交えて、環境という視点からの自転車のとらえ方を審議、調査するのは非常によいと思います。

委員　地域性もあると思いますが、川崎区は平たんなので自転車の台数が多いのです。それに伴い事故も多いし、バス停付近は放置自転車の山になっています。

委員　池上新町にあるコストコは、世界一自転車で来るお客さんが多いようです。コストコ側では基本的に車での来店を考えていたので、余り駐輪場をつくらなかったようですが、あまりにも自転車で来るので、途中で改修が始まったような経緯もあります。

　学校内はもちろん、学校周辺も基本的には禁煙なのです。ただ、運動会などでは学校周辺で喫煙して、側溝に捨てた吸い殻が原因で火事になった例もあるのです。そのため、一部の学校では、６年生、５年生の子ども委員に禁煙と書かれたものを持たせて、運動会のときに学校周辺を巡回させたところ、効果てきめんで、こそこそといなくなる親御さんも結構いたようです。

部会長　不法投棄自転車は、今、塩浜に何台ぐらい集められているのですか。

委員　行政にお聞きすればすぐわかると思います。

部会長　自転車のシェアはどういう形になるのですか。お金を払ってもらうのですか。

委員　お金を払って出す形だと思います。配送代と思いますが、その辺も含めて調査が必要です。

部会長　先日、川崎警察署長とお会いする機会があって、お話をお聞きしたら、川崎自体が非常に自転車が多く、事故も多いらしいです。問題になっているようで、課題解決という意味では非常によい方法かもしれません。

　ほかに何か考えられることはございますか。

事務局　部会名はどうしましょうか。本日決めますか。

部会長　前回は「区民が取り組む環境エコ部会」でしたが、いかがでしょうか。

事務局　いろいろな意味での環境ということであれば、このまま「（仮称）」を取って環境部会という考え方でもよろしいかと思います。その辺をご審議いただいて、時間の制約もありますが、できれば本日、部会名ぐらいは決めていただけるとよろしいかと思います。

委員　私は簡単に環境部会でよいと思いますが、皆さんの意見はどうでしょうか。

各委員　異議なし

部会長　課題も出尽くしたようなので、また次回に話し合いたいと思います。
今年度の部会を何回程度開催するかですが、とりあえず今回は決めなくてよいですか。

委員　無理して決めずとも、審議課題の候補を挙げてから、このテーマだからこういうふうにとなっていくと思います。

部会長　では、長時間にわたりありがとうございました。審議の課題、テーマについて足りないことがあれば、また次回、つけ加えていくこともできますので、よろしくお願いいたします。

（４）　その他

部会長　次に、議題（４）その他について、事務局から説明を願います。

事務局　ポスターコンクール選考委員をお一人決めていただけると助かります。選考日は６月29日（火）です。

委員　木島さんが大丈夫なら、木島さんを推薦したいと思います。

各委員　異議なし

事務局　その他の事務連絡をいたします。

〔日程調整〕

部会長　では、次回開催は、第１候補を６月28日（月）、第２候補を６月30日（水）両日とも開会時間は午後６時30分といたします。

事務局　なお、部会長につきましては、きょうの審議状況を幹事会で報告していただくことになりますので、その日程も改めて調整をさせていただき、正副委員長から、もし意見があった場合には次回の部会でお示しをさせていただきますので御了承ください。どうもありがとうございました。

委員　第２期の２年目の途中から、会合だけでは話が進まなかったり、内容を忘れてしまい、同じ話を繰り返さなければいけないような状態があったので、メールアドレスのある人だけでも情報共有して、部会を欠席する場合はメールで先に言っておくなりすればよいと思うので、第３期は最初からそうやりたいのですが、いかがでしょうか。

各委員　異議なし

副区長　長時間、本当にありがとうございました。環境を中心に川崎区のイメージアップについていろいろなご意見をいただきました。次回、委員さんが見学したりとか、川崎区の自転車なども自転車担当がいたりとか、その辺の現状をお話しし、みんなで共有して、もう少し幅広い視点で見て、早急に課題は絞らなくてもよいかと思いますので、十分話し合ってから決めていただければと思います。

　今回、部会名も、皆さん、子ども部会とか、環境部会とか、高齢者部会とか、どこもわかりやすい部会名で、環境部会と決まりましたので、また次回、よろしくお願いいたします。

　ありがとうございました。

３　閉　会

事務局　どうもありがとうございました。

部会長　どうもありがとうございました。

午後　８時２９分　　閉　会